

君は外大で何を学ぶか?

OB・OGが自らの学問と地域研究の可能性を語る。

中国語以外の諸君も
奮ってご参加ください

21 世紀中国地域研究の新たな学知 —中国社会変貌を解読する三つの「支点」—

本セミナーは、報告者の三先生の現代中国地域研究の先端的成果を本学学部学生・院生に提供いただくなかで、20 世紀史的視角から中国社会の変貌を読み解くいくつかの「支点」を解明することによって、21 世紀を担う若き世代の中国地域研究に対する新たな知的刺戟とすることを目的とする。周太平報告は、モンゴル地域社会の構造変動を 20 世紀史的視角から検討する「現代中国エスニシティ社会論」であり、周辺のエスニック社会の変動・変容の特質を生業構造からとらえなおし、課題と展望に言及する。沢田ゆかり報告は、華南地域社会の構造変動を世紀転換期の視角から接近する「現代中国社会保障システム論」であり、市場メカニズムから見た国家と家族の新たな機能の創出と社会保障システム構築の現段階、およびその新たな可能性をさぐる。夏井春喜報告は、江南地域社会の構造変動について 20 世紀史的視角から考察する「現代中国農村・都市社会論」であり、中枢農村社会における地主・佃戸関係の消滅と農村・都市関係の現段階、およびその矛盾と新たな展望を明示する。

日時と場所：2005 年 4 月 14 日(木)13:00-17:00, 図書館 AV ホール

報告者と報告内容

周太平(内モンゴル大学副教授)：「変動する中国と地域研究の課題—内モンゴル近現代史の視点から」

沢田ゆかり(東京外国語大学助教授)：「福祉国家論から見た華南の社会保障—“自由主義レジーム”下の膨張のメカニズム」

夏井春喜(北海道教育大学教授)：「文書史料からみる中国近代の地主」

ディスカッサント：許衛東(本学助教授), 宮原暁(本学助教授), 田中仁(本学教授)

コーディネーター：西村成雄(本学教授)

報告の概要とフルテキスト、ディスカッサントの提言などは下記のウェブページで公開しています。

<http://homewww.osaka-gaidai.ac.jp/~tanakahi/china-forum.htm>

本セミナーについてのお問い合わせは、田中仁(tanakahi@osaka-gaidai.ac.jp)までお願いします。